

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

平成 27 年度 通常総会議事録

1. 日時：平成 27 年 5 月 30 日(土) 午後 1 時 30 分～2 時 27 分

2. 会場：サプリ村野南館 2 階 環境保全研修室

3. 正会員数：112 名

4. 出席者数：71 名（本人出席 30 名、委任状出席 24 名、議決権行使書出席 17 名）

5. 議題

第 1 号議案 役員選任に関する件

第 2 号議案 平成 26 年度事業報告書案承認の件

第 3 号議案 平成 26 年度活動決算書案承認の件

第 4 号議案 平成 27 年度事業計画書案承認の件

第 5 号議案 平成 27 年度活動予算書案承認の件

6. 議事経過及び結果

(1) 事務局が本日の通常総会は定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。

(2) 司会者の末岡氏から議長の選任につき諮ったところ、満場一致をもって伊丹均氏を議長に選任した。

(3) 議長が、議事録作成人に事務局、議事録署名人に竹島健次氏及び丸井晶子氏を指名し、諮ったところ、満場一致をもって同意がなされた。

(4) 第 1 号議案「役員選任に関する件」

理事会は上記議案を上程した。議案について、丸井理事より、説明があり、全員に諮ったところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。なお、下記の者が役員に選任され、全員その就任を承諾した。

新役員

監事 中塚 賢（中塚賢税理士事務所 税理士）

(5)第2号議案「成26年度事業報告書案承認の件」及び第3号議案「平成26年度活動決算書案承認の件」

理事会は上記議案を上程し、第2号議案について丸井理事が、第3号議案について進藤氏がそれぞれ説明をした。また、重村監事による監査が4月15日に行われ問題がなかったことを報告した上で、議長が承認を全員に諮ったところ、意見・質問があり、質疑応答の後、全員異議無く原案どおり承認可決した。

※質疑応答概要

池田：活動決算書に前年実績を記入している理由は何か。

進藤：前年に比べてどうかということがわかりやすいように記入している。

池田：それなら、前年比の増減を入れるべきではないか

進藤：次年度より、そのようにする。

金只：今年度一年間の活動で特筆すべきものは何か。

伊丹：まちづくり部会の五六市の清掃と公共交通部会で絵本&紙芝居事業である。

この二つには、通常以上の成果があったと思う。

金只：前年度に多くの賛助会員が入会されたので、その方たちにも大いに活動していただきたいと思うのだが、その点に関しての見解をお聞きしたい。また、昨年度、5か年計画のマスタープランが提示されたが、それは、その後どうなったのか。

丸井：1点目、賛助会員には、いろいろな方がおられる。活動はできないが応援するという方もおられるのだが、そういう方もどこかに活躍の場を設ける必要があるということは感じている。そのためには、活動したくなるような、魅力ある事業の展開が必要であり、今後努力していきたい。

2点目、26年度の通常総会で、報告させていただいた中期計画を枚方市に提出し、一定の結論を得た。その中で示した課題の解決のために、行政と相談しながら検討していかなければならない。

西村：他団体支援事業で行われているエコキャップの回収であるが、支援団体からの評価はどうなのか。

丸井：エコキャップ推進協会の不正がニュースになったにもかかわらず、エコキャップの回収は、身近な環境活動として多くの方が継続してとりくまれており、各団体には、エコキャップがたまっているのが現状であるため、支援は継続している。今後どうしていくかは、動向を見守りながら模索しているところである。廃プラ業者に売却し、売却益を各団体に還元する、あるいは、当団体の環境活動の資金としていく等、いろいろな方法があるが、いい形で継続していけるように考えている。

西村：エコキャップ推進協会は反省しているのか。

丸井：何が正しいのか詳しい情報を得ていないので、それはわからない。

西村；努力の効果がでるようにしてほしい。

池田：事業費が前年よりも、予算よりも減っているのは、活動が減っているということか。

丸井：事業費の削減の理由は、無償のマンパワーの成果である。講座の講師も内部でお願いし、少ない謝金でお願いしている事などがある。皆様の労力の提供により、費用が抑えられているということである。将来的に補助金がなくなるという懸念があるため、少しでも繰越金を残しておきたい。そういった理由で事業費を抑える努力をしている。

池田：例えば、モビリティマネジメント事業では、今年度実績は、前年度実績より半減している。予算からも大幅ダウンである。この予算は、妥当であったのか。

末岡：一昨年度は、交通タウンマップの改訂期であったため、費用が大きくかかった。しかし、活動報告を見ていただければわかるとおり、活動そのものは昨年より増えている。

池田：150万の予算が大きく見すぎているのではないか。

丸井：今後、予算立てをきちんとするよう努力する。

(6) 第4号議案「平成27年度活動計画の件」及び第5号議案「平成27年度活動予算案承認の件」

理事会は上記議案を上程し、第4号議案について丸井理事が、第5号議案について進藤氏がそれぞれ説明をし、議長が承認を全員に諮ったところ、意見・質問があり、質疑応答の後、全員異議無く原案どおり承認可決した。

※質疑応答概要

池田：予算建ての時に実績を精査していただきたい

丸井：次年度より、そのようにする。

金只：環境 ISO14001 に代わるものというものは、どういうものか。

丸井：国際基準の環境 ISO14001 の取得には費用がかかる。ちょうど更新期であり、すでに環境システムマネジメントは確率したので、更新費用を削減し、枚方独自の同じような基準をつくるということである。

金只：総会が終わらないと、今年度事業ができないというのは困る。

丸井：4月にやるということを前年度の事業計画に記載しておけば問題ない。どこかで線引きをしないといけない。

金只：ウォーキングは、新規事業ではないと思っている。

丸井：言われることは分かる。どの年度の予算ですかというような絡みもあるので考えさせてほしい。

議長は、他緊急を要する議案がない事を確認し、以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した（午後2時27分）。

その後、新役員である中塚氏より、挨拶があった。

上記の議事の要領および結果を明確にするために、議長ならびに議事録署名人2名が次に記名押印する。

平成27年5月30日

議 長 伊丹 均 ⑩

議事録署名人 丸井 晶子 ⑩

議事録署名人 竹島 健次 ⑩

理 事 長 伊丹 均 ⑩